

庄司 洋子先生 略年譜

- 1942年 3月 東京に生まれる
1964年 3月 東京大学文学部社会学科卒業
1965年 4月 東京都民生局に勤務（～1980年6月）
1977年 6月 ハーバード大学教育学大学院修士課程修了（教育社会学）
1980年 7月 日本社会事業大学社会福祉学部専任講師
1981年 7月 日本社会事業大学社会福祉学部助教授
1988年 4月 日本社会事業大学社会福祉学部教授
1990年 4月 立教大学社会学部社会学科教授（～2007年3月）
1991年 4月 立教大学大学院社会学研究科社会学専攻修士課程主任（～1994年3月）
1991年 4月 立教大学社会福祉研究所副所長（～1999年3月）
1996年 4月 立教大学社会学部社会学科長（～1997年3月）
1998年 4月 立教大学ジェンダーフォーラム所長（～2000年3月）
1998年 10月 立教大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程前期課程主任（～2000年3月）
2000年 4月 立教大学全学共通カリキュラム運営センター部長（～2004年3月）
2003年 4月 放送大学客員教授（～2007年9月）
2005年 4月 立教大学社会福祉研究所所長（～2007年3月）
2007年 4月 立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科特任教授
上記のほか、学習院大学、川崎医療福祉大学、久留米大学、新潟青陵大学、お茶の水女子大学、成城大学、白梅学園短期大学、東京大学、日本女子大学大学院、北海道大学大学院、などで非常勤講師

所属学会（国内）

日本社会学会、関東社会学会、日本家族社会学会、福祉社会学会、日本教育社会学会、日本社会福祉学会、社会政策学会、家族問題研究会、日本居住福祉学会ほか

学外活動（*は任期終了）

*中央社会福祉審議会／委員（厚生省）、*中央児童福祉審議会／委員（厚生省）、*厚生統計協議会／委員（厚生省）、*人権擁護推進審議会／委員（法務省）、*大学設置・法人審議会／委員（文部科学省）、社会保障審議会／委員（厚生労働省）、中央社会保険医療協議会／委員（厚生労働省）、*男女共同参画会議／専門委員（内閣府）、*日本学術振興会・学術システム研究センター／研究員、国立社会保障・人口問題研究所／研究評価委員、独立行政法人福祉医療機構／基金事業審査・評価委員ほか

庄司 洋子生 主要研究業績

【単行本】(著書・編著書・訳書)

- ケネス・ケニストン著，庄司興吉・庄司洋子訳，1973『ヤング・ラディカルズ：青年と歴史』みすず書房。
 布施晶子・玉水俊哲・庄司洋子編，1992『現代家族のルネサンス』青木書店。
 古川孝順・庄司洋子・定藤丈弘著，1993『社会福祉論』有斐閣。
 古川孝順・庄司洋子・三本松政之編，1993『社会福祉施設：地域社会コンフリクト』誠信書房。
 庄司洋子・杉村宏・藤村正之編，1997『貧困・不平等と社会福祉』有斐閣。
 庄司洋子・松原康雄・山縣文治編，1998『家族・児童福祉』有斐閣。
 庄司洋子・木本喜美子・重川治樹著，1998『居場所を取り戻そう，男たち：受難の時代を生きる』東京女性財団。
 庄司洋子・木下康仁・武川正吾・藤村正之編，1999『福祉社会事典』弘文堂。
 北川隆吉・庄司洋子・杉岡直人・船津衛（社会福祉士養成講座編集委員会）編，1999『新版，社会福祉士養成講座（11），社会学』中央法規出版。
 庄司洋子・松原康雄・山縣文治編，2002『家族・児童福祉／改訂版』有斐閣。
 庄司洋子・松原康雄著，2003『児童家庭福祉』放送大学教育振興会。
 庄司洋子・波田あい子・原ひろ子編著，2003『ドメスティック・バイオレンス 日本・韓国比較研究』明石書店。

【論文等】

〈単行本掲載〉

- 庄司洋子，1981「女性労働：その神話と現実」女性社会学研究会編『女性社会学をめざして』垣内出版，180～206。
 庄司洋子，1982「現代における夫婦の問題」布施晶子・玉水俊哲編『現代の家族』青木書店，138～171。
 庄司洋子，1983「解説」倉橋惣三著『社会的児童保護概論：児童保護の教育原理：児童保護問題（日本児童問題文献選集8）』日本図書センター，195～212。
 庄司洋子，1984「貧困と女性」女性学研究会編『講座女性学第2巻・わたちのいま』勁草書房，259～281。
 庄司洋子，1984「解説」瀬川頼太郎編『子供の声：教育資料（日本児童問題文献選集20）』日本図書センター，375～386。
 庄司洋子，1985「男女平等と保育問題」『ジュリスト増刊 女性の現在と未来』有斐閣，84～91。
 庄司洋子，1985「現代女性と社会参加」『講座 現代・女の一生6 仕事・職場』岩波書店，335～372。
 庄司洋子，1986「性別分業論の検討」布施晶子・清水民子・橋本宏子編『現代家族の危機と再生1：現代の夫婦』青木書店，182-212。
 庄司洋子，1986「家族と社会福祉」『ジュリスト増刊 転換期の福祉問題』有斐閣，131～138。

- 庄司洋子, 1986「現代家族と子ども—家族機能の変貌と子どもの養育」『ジュリスト増刊 子どもの人権』有斐閣, 125~132.
- 庄司洋子, 1986「現代家族の養育機能—危機の構造とその諸相」—一番ヶ瀬康子・古川孝順編『講座社会福祉 7巻・現代家族と社会福祉』有斐閣, 150~197.
- 庄司洋子, 1986「低成長期の家族問題と家族政策」日本社会事業大学編『社会福祉の現代的展開』勁草書房, 138~171.
- 庄司洋子, 1987「家族・社会福祉と女性」山口眞・山手茂編『女性学概論』亜紀書房, 205-251.
- 庄司洋子, 1987「発達環境と学習 1. 家庭」東洋ほか6名編『岩波講座 教育の方法 2 学ぶことと子どもの発達』岩波書店, 178~219.
- 庄司洋子, 1987「保育と仕事」佐々木静子編『女性のライフサイクルと法』ミネルヴァ書房, 179~199.
- 古川孝順・庄司洋子, 1988「戦後福祉政策の展開と福祉改革」伊部英男・大森彌編『明日の福祉⑤ 福祉における国と地方』中央法規出版, 15~102.
- 庄司洋子, 1988「解題」橘覚勝著『子どもと生活環境 (現代日本児童問題文献選集 28)』日本図書センター, 249~258.
- 庄司洋子, 1989「家族福祉, 母子 (父子) 福祉と法」佐藤進編『現代社会福祉法入門』法律文化社, 265~280.
- 庄司洋子, 1993「現代家族の介護力—期待・現実・展望」『ジュリスト増刊 高齢社会と在宅ケア』有斐閣, 190~196.
- 庄司洋子・岡本英雄, 1994「女性と階層」目黒依子編『ジェンダーの社会学』放送大学教育振興会, 72~79.
- 庄司洋子, 1994「政策のなかの女性」目黒依子編『ジェンダーの社会学』放送大学教育振興会, 108~115.
- 庄司洋子, 1994「家族生活と生活福祉」—一番ヶ瀬康子・尾崎新編『生活福祉論』光生館, 23~47.
- 庄司洋子, 1996「非婚をめぐる差別」栗原彬編『日本社会の差別構造: 講座・差別の社会学 2』弘文堂, 153~167.
- 庄司洋子, 1996「現代家族の変容と育児・教育」堀尾輝久ほか9名編『講座学校 3 変容する社会と学校』柏書房, 81~100.
- 庄司洋子, 1998「社会福祉学 政策単位の個人化という課題」『AERA Mook 家族学のみかた』朝日新聞社, 34~37.
- Shoji, Yoko, 2002 *The Family and Women* Kokichi Shoji (ed), Japanese Society, International Society for Educational Information, Inc., 17-20.
- 庄司洋子, 2003「介護保険 3 多様化したサービスを生かせぬ使い勝手の悪さ」『AERA Mook 新版 社会福祉学がわかる』朝日新聞社, 136~139.
- Shoji, Yoko, 2003, *Domestic Violence in Japan: perceptions and legislation* Misa Izuhara (ed.), Comparing Social Policies—Exploring new perspectives in Britain and Japan, The Policy Press, 121-134.

〈雑誌掲載〉

- 庄司洋子, 1979「男性保育者登場の意味—保育における性役割りをめぐって」『婦人問題懇話会会報』30, 8~16.
- 庄司洋子, 1981「アメリカの託児企業の現状からみた営利的託児サービスの問題点」『ジュリスト』744,

68～74.

- 庄司洋子, 1981「アメリカの保育事情とベビーホテル問題—しのびよる“ケンタッキー・フライド・チルドレン”」『月刊福祉』64 (7), 68～73.
- 古川孝順・庄司洋子・大橋謙策・村井美紀, 1983「養護施設退園者の生活史分析」『社会事業の諸問題 (日本社会事業大学研究紀要)』29, 151～263.
- 庄司洋子, 1984「わが国の「答申」・「白書」に見る家族」『社会福祉研究』35, 44～50.
- 庄司洋子, 1985「子育てと婦人の労働」『月刊福祉』68 (6), 46～51.
- 庄司洋子, 1986「わが国の社会福祉における家族の諸問題」『社会福祉研究』38, 47～53.
- 庄司洋子, 1986「現代の児童問題の特質と児童相談所・施設の役割」『月刊福祉』69 (16), 42～50.
- 庄司洋子, 1987「現代日本の家族」佐藤悦子・稲村博編『現代のエスプリ 日本的家族療法の模索 家族療法③』244, 42～50.
- 庄司洋子・三本松政之, 1987「地域社会『原宿』の福祉問題—その接近の視点」『日本社会事業大学社会事業研究所年報』23, 199～212.
- 庄司洋子, 1988「現代家族の福祉ニーズ—閉塞と虚構に生きた非婚母子の事例をとおして」『ジュリスト』923, 12～20.
- 古川孝順・庄司洋子・村井美紀・茨木尚子, 1988「複合施設化=脱「施設社会化」の視点」『日本社会事業大学研究紀要』34, 47～77.
- 古川孝順・庄司洋子・村井美紀, 1988「中卒養護施設児童の進路選択—家族的要因との関わりを中心に」『全国養護施設長研究協議会第42回研究発表大会資料集』424～450.
- 庄司洋子・安立清史・村井美紀・三本松政之著, 1988「原宿地域住民の生活と福祉—住民意識調査の分析を通して」『日本社会事業大学社会事業研究所年報』24, 241-285.
- 古川孝順・庄司洋子, 1989「民生・児童委員活動の実態と展望—アクション・リサーチのための視点と方法」『日本社会事業大学社会事業研究所年報』25, 101～111.
- 庄司洋子, 1990「家族の変化からみた児童養育の現状—養育の社会化と育児産業の相剋」『社会福祉研究』48, 25～32.
- 古川孝順・村井美紀・宮城孝・茨木尚子・三本松政之・岡本多喜子・小松理佐子, 1990「新しい社会福祉供給=利用システムと民生・児童委員の役割」『日本社会事業大学社会事業研究所年報』26, 151～177.
- 庄司洋子, 1991「都市の家族と子ども—現代の子育てのネガ・フィルム」『都市問題研究』43 (7), 98～110.
- 早川善治郎・岡本治治・奥田道大・庄司洋子・服部孝章・島崎哲彦・八田正信・二川薫著, 1992「立教大学新座校地周辺住民意識調査: 調査報告」『応用社会学研究』34, 59-133.
- 庄司洋子, 1992「コメント: 第26回社会保障研究所シンポジウム「低出生社会の家族と社会保障」」『季刊社会保障研究』28 (1), 23～27.
- 佐藤悦子・庄司洋子, 1993「家庭児童相談室の現状と家庭相談員の意識」『応用社会学研究』35, 103～121.
- 庄司洋子, 1993「低出生社会の到来—その影響と福祉的対応」『社会福祉研究』58, 40～45.
- 庄司洋子, 1994「揺らぎの中の都市家族」『都市問題』85 (8), 3～9.
- 庄司洋子, 1995「民法改正と家族のゆくえ」『月刊福祉』78 (3), 34～37.
- 庄司洋子, 1997「母子関係をゆるがすもの」『児童心理』51 (13), 18～23.

- 庄司洋子, 1997「高学歴社会と友達親子」『季刊 子ども学』14, 119~124.
- 庄司洋子, 1999「書評：『チャイルドマインディングーもうひとつの子ども家族支援システム（畠中宗一）』」『家族社会学研究』11, 133~135.
- 庄司洋子, 2004「地方公共団体における行政苦情救済活動 中野区福祉オンブズマン制度」『行政苦情救済&オンブズマン』12, 39~46.
- 庄司洋子・湯澤直美, 2005「ドメスティック・バイオレンス対策をめぐる課題ー日本・韓国比較研究」『平和・コミュニティ研究』1, 78~91.
- 庄司洋子, 2007「日本における少子化の特徴ー何が有効な対策か」『日本福祉大学 社会福祉論集』第2回日韓定期シンポジウム特集号, 43~50.

【調査報告等】

- 研究代表者：庄司洋子, 1988『地域社会における社会福祉施設の位置と機能に関する総合的研究』昭和61年度~62年度文部省科学研究費補助金〔総合研究A〕研究成果報告書.
- 調査研究委員会主査：庄司洋子, 1991『生活協同組合による福祉活動に関する調査研究事業報告』財団法人生活協総合研究所.
- 佐藤進・市川一宏・庄司洋子・古川孝順, 1991『児童福祉法制改革の方向と課題』全国社会福祉協議会・児童福祉法制研究会報告.
- 東京女性財団研究員：庄司洋子・大日向雅美・渡辺秀樹, 1993『ひとり親家族に関する研究』東京都女性問題調査研究.
- 非婚出産研究会代表：庄司洋子, 1993『非婚出産女性の自立条件に関する研究ー社会的援助過程との関連を中心に』財団法人東京女性財団平成5年度助成事業.
- 現代教護研究会代表：庄司洋子, 1996『教護院運営の将来のあり方』東京都福祉局委託調査研究.
- 女性に対する暴力検討委員会委員長：庄司洋子, 1998『「女性に対する暴力」調査報告書』東京都生活文化局.
- 研究代表：庄司洋子, 1998『在日外国人の人権と家族問題』, 1997年度立教大学研究奨励助成金成果報告書.
- 東京女性財団研究員：庄司洋子・波田あい子・高島芳忠, 2001『配偶者等による暴力の被害女性と子どもへの支援に関する調査』東京都女性問題調査研究.
- 研究代表者：庄司洋子, 2002『家庭内の“女性に対する暴力”防止に関する社会システム開発のための日本・韓国共同研究報告書』平成11年度三菱財団研究助成.
- 主任研究者：庄司洋子, 2002『母子寡婦福祉団体とひとり親世帯の福祉施策に関する調査』平成13年度厚生科学研究（子ども家庭総合研究事業）.
- 子どもの虐待防止センター研究事業企画委員会委員長：庄司洋子, 2002『現代の子ども虐待の実態と育児支援ニーズに関する研究ー民間虐待防止団体の電話相談活動を中心にー』平成13年度社会福祉・医療事業財団子育て支援基金助成事業.
- 主任研究者：庄司洋子, 2003『ひとり親家族の自立支援施策のあり方に関する実証的研究』平成14年度厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究事業）.
- 子どもの虐待防止センター研究事業企画委員会委員長：庄司洋子, 2003『現代の子ども虐待の実態と育児支援ニーズに関する研究ー民間虐待防止団体と地域ネットワークー』平成14年度社会福祉・医療事業

財団子育て支援基金助成事業。

主任研究者：庄司洋子，2004『ひとり親家族の自立支援施策のあり方に関する実証的研究』平成15年度厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究事業）。

戒能民江・湯澤直美・庄司洋子，2006『台湾におけるドメスティック・バイオレンス政策調査研究（FGENS Publication Series 13）』お茶の水女子大学21世紀COEプログラム。